

アクセス・交通案内

太白区文化センター 楽楽楽ホール

住所：仙台市太白区長町5-3-2
TEL：022-304-2211

- ◆地下鉄でおいでの方
市営地下鉄南北線仙台駅から富沢行きで8分、長町駅で下車。南1番出口から直接建物の地下1階へ入れます。
- ◆JRでおいでの方
JR仙台駅から東北本線、常磐線または仙台空港アクセス線上り方面行きで4分、長町駅で下車。徒歩3分。
- ◆飛行機でおいでの方
仙台空港駅から仙台空港アクセス線下り方面行きで18分、長町駅で下車。徒歩3分。

公共の交通機関をご利用いただきますよう、ご協力をお願いいたします。



参加申し込みについて

添付参加申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXにてお申込みください。

お問い合わせ先

宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議事務局 (担当: 菊池, 佐藤, 及川)
〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町3-7-4
Tel.022-266-2621 FAX022-266-3953

第4回

宮城発

これからの福祉を考える 全国セミナー

～誰もがどんなときでも
自分らしく暮らしていくためには～

日時 令和2年2月14日(金) 10:20～16:00

会場 太白区文化センター 楽楽楽ホール
(仙台市太白区長町5-3-2)

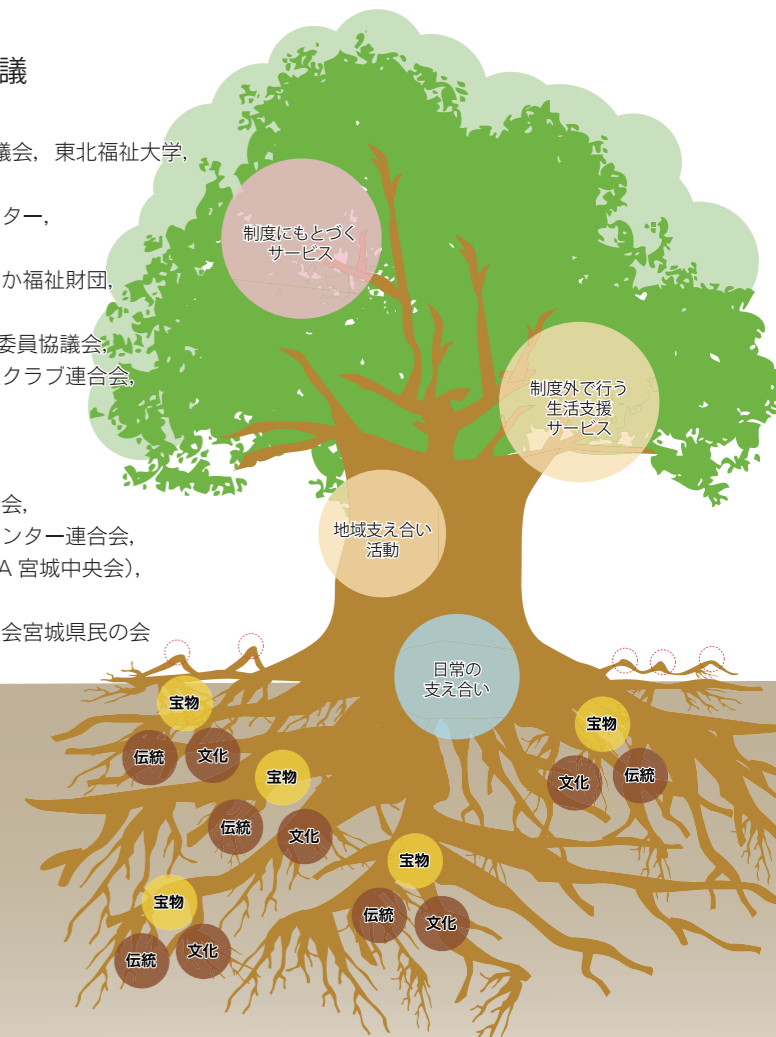
対象 自治体関係者、地域包括支援センター職員、生活支援コーディネーター、社会福祉協議会、民生委員、児童委員、介護・福祉事業従事者、生協、農協、商工業者、NPO、各種ボランティア、自治会・町内会などの地域組織のリーダー、復興支援従事者、その他関心のある方など

主催 宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議

宮城県、仙台市、(社福)宮城県社会福祉協議会、(社福)仙台市社会福祉協議会、(社福)七ヶ浜町社会福祉協議会、東北福祉大学、仙台白百合女子大学、東北こども福祉専門学院、特定非営利活動法人 全国コミュニティライフサポートセンター、仙台市地域包括支援センター連絡協議会、宮城県サポートセンター支援事務所、公益財団法人 さわやか福祉財団、特定非営利活動法人 移動サービスネットワークみやぎ、食事サービスネットワーク・みやぎ、宮城県民生委員児童委員協議会、仙台市民生委員児童委員協議会、公益財団法人 宮城県老人クラブ連合会、公益社団法人 仙台市老人クラブ連合会、仙台弁護士会、特定非営利活動法人 せんだい・みやぎ NPO センター、特定非営利活動法人 宮城県ケアマネジャー協会、一般社団法人 宮城県社会福祉士会、宮城県商工会議所連合会、宮城県商工会連合会、公益社団法人 宮城県シルバー人材センター連合会、宮城県生活協同組合連合会、宮城県農業協同組合中央会(JA 宮城中央会)、特定非営利活動法人 杜の伝言板ゆるる、特定非営利活動法人 介護の社会化を進める一万人市民委員会宮城県民の会

定員 500名

参加費 無料



宮城発これからの福祉を考える全国セミナー

全国の市町村では、生活支援コーディネーターや協議体が配置・設置され、高齢者を含む住民同士の支え合いや地域づくりを推進しています。

宮城県では、東日本大震災からの復旧・復興を通して、地域のつながりや支え合いの重要性を再確認し、その経験から学んだ被災者支援のノウハウを地域支援事業の推進に活かすために、市町村支援のプラットフォームとして、「宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議」を設置し、地域支え合いの体制づくりを推進しています。

本セミナーでは、宮城県内外の生活支援体制整備事業の取り組みや、活動実践等から学び合い、誰もがどんなときでも自分らしく暮らしていくための社会の実現に向けて考えます。

セミナープログラム

| | | |
|-------------|---------------------------------------|--|
| 10:20～10:25 | 開会 | 宮城県 宮城県社会福祉協議会 |
| 10:25～10:40 | 基調報告 | 宮城県保健福祉部長寿社会政策課 |
| 【第1部】 | | |
| 10:40～11:30 | 取組み紹介 | お宝探しと地域歩き（生活支援体制整備事業の取組み紹介その1） |
| | 発表者 | 南三陸町社会福祉協議会 仙台市秋保地域包括支援センター |
| | コメンテーター | コーディネーター 宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議 運営委員会委員 |
| 11:30～13:00 | 休憩 | |
| 13:00～13:50 | 取組み紹介 | 協議体ってどう進めるの？（生活支援体制整備事業の取組み紹介その2） |
| | 発表者 | 角田市社会福祉協議会 淡路市社会福祉協議会 |
| | コメンテーター | コーディネーター 宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議 運営委員会委員 |
| 13:50～14:00 | 休憩 | |
| 【第2部】 | | |
| 14:00～15:50 | 地域共生社会に向けた地域づくり～共に生きる社会の実現に向けて～ | |
| | 発表団体 | つるがや畑プロジェクト |
| | | 栗原市東お茶っこ会 |
| | | 気仙沼市魚町踏切手前のお茶処 |
| | | 塙山学区住みよいまちをつくる会 |
| コメンテーター | コーディネーター 宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議 運営委員会委員 | |
| 15:50～16:00 | まとめ | 宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議 運営委員会委員 委員長 大坂純 氏 |

【展示コーナー】

セミナー会場内ホワイエでは、県内各自治体の情報をパネル展示します。生活支援コーディネーターが探した地域のお宝(資源)や協議体、研修会の様子等の写真、地域の情報を発信している広報誌等をご覧ください。


第1部その1【お宝探しと地域歩き】

| | |
|--|--|
| <p>南三陸町社会福祉協議会 生活支援コーディネーター 芳賀裕子氏 千葉ユミ氏</p>  <ul style="list-style-type: none"> ■サロンまわりから一歩進んだお宝探し ■在宅と施設のあいだを広げる関わり ■被災者支援から地域支援へ | <p>仙台市秋保地域包括支援センター 生活支援コーディネーター 添田拓三氏</p>  <ul style="list-style-type: none"> ■包括職員としてのコーディネーターの活動と苦悩 ■農村部や温泉街と地域特性が豊かな地域での活動とは |
|--|--|

第1部その2【協議体ってどう進めるの?】

| | |
|--|--|
| <p>角田市社会福祉協議会 主幹兼地域福祉係長 兼生活支援コーディネーター 岡本圭一郎 氏</p>  <ul style="list-style-type: none"> ■協議体参加者が自分事と思えるための工夫 ■みんなで話し合える場になる工夫 | <p>淡路市社会福祉協議会 事務局次長 岩城和志氏</p>  <ul style="list-style-type: none"> ■すでにある協議の場への関わり方 ■人と人が出会う場を生み出す工夫 |
|--|--|

第2部【地域共生社会に向けた地域づくり～共に生きる社会の実現に向けて～】

| | |
|--|---|
| <p>つるがや畑プロジェクト</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ■2015年12月から復興住宅に住民の入居が始まり、復興公営住のウェルカムパーティーで何かしたいと話すうちに始まったプロジェクト。 ■畑作業のなかで出た住民の希望や困りごとをキャッチし、地域包括支援センターなどと連携しながら地域生活の改善につなげている。楽しく続けていけることを大切に活動を紹介いただきます。 |
| <p>栗原東お茶っこ会</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ■2012年、主婦の有志が設立し毎月第3日曜日を定例に開催。ただのお茶っこ会ではなく、気兼ねせず、「あれしたい」「ここに行きたい」と何でも話せる場。 ■お茶っこ会での会話の中から、住み慣れた地域で自分たちらしく暮らし続けるという願いを叶えた事例を紹介いただきます。 |
| <p>気仙沼市踏切手前のお茶処</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ■気仙沼市太田地区の踏み切り近くにある「西城鮮魚店」。十坪ほどの店内には椅子とテーブルが置かれ、常連たちが入れ替わりたち替わりお茶のみを楽しむ。 ■鮮魚店が支え合いの拠点となり、何気なく行われる誰もがどんなときでも自分らしく暮らすための工夫を紹介いただきます。 |
| <p>塙山学区住みよいまちをつくる会</p>  | <ul style="list-style-type: none"> ■1980年から発足した住民自治組織。簡単な地域環境をよくする取り組みから始まり、現在はこどもから高齢者まで地域づくりに関わり、住んでよかったと思える地域を目指し、住民主体の活動を続ける。 ■活力が衰えない組織力。長く続けられている工夫や住民同士で続けるコツを紹介いただきます。 |